

2015年 夏号

かわらばん

地域で暮らすひとりひとりと 地域支援室 でつくる情報誌
北九州市地域支援室 〒802-0803 北九州市小倉南区春ヶ丘 10-2 北九州市立総合療育センター西棟2階
直通電話 922-6886 FAX 952-2713 専用 E-mail: shien@kitaq-src.jp

ご挨拶

北九州市立総合療育センター所長就任にあたって

北九州市立総合療育センター 所長 松尾 圭介

今年度4月より佐伯前所長の後を受け所長に就任しました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【障害児医療との出会い】

私は昭和55年に九州大学医学部を卒業し、臨床研修、大学院での研究生生活、その後、一般整形



外科・外傷学に携わってから小児整形および障害児医療を志しました。研修医時代に、初代所長である高松鶴吉先生にお会いし来るべき障害児医療の未来像を教えられ、チームアプローチによる医療・福祉・教育の連携プレイの理想と実践に強いインパクトを受けました。私がこの道を歩めた原動力は高松先生との出会いと言っても過言ではありません。

【足立学園から総合療育センターへ】

当センターは、その前身である肢体不自由児施設「足立学園」開設から今年度で50年目を迎えます。開設当初は「肢体不自由」という単一障害のみを対象としていましたが、昭和53年の総合療育センター開設、重症心身障害児施設開設（平成12年）、更には地域支援室の正式設置と発達障害者支援センター開設（平成15年）と脳性麻痺などの肢体不自由に留まらない多岐に渡る合併症を持つ子ども達や発達障害児の増加など多様化する障害に対応できるシステム作り而努力してまいりました。

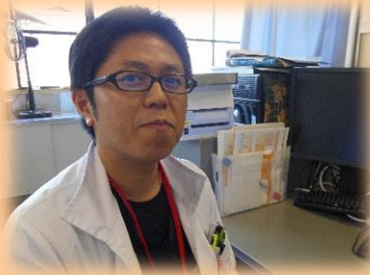
【今～そして未来へ】

ここ数年来の法改正では障害児の地域社会への参加と包容を子育て支援において推進することが謳われ、地域支援体制の整備が大きな課題となっています。その取り組みとして当センターでは3つの計画が進行中です。第1点は、（仮称）西部分所（当センター西部地区の分院）が平成28年度開設予定であり、北九州市内における通院圏の地域差を解消した活動を行います。第2点は、厚生労働省により平成25年度から始まった小児等在宅医療連携拠点事業に当センターが参画していることです。保健・医療・福祉等の連携整備のため、地域支援室が大学病院や市中の病院の間でネットワーク作りを推進しています。第3点が、平成30年度に小児医療・リハビリテーションシステムの充実を目指した新センターの移転・開設が計画されています。小児領域関連の診療科のみではなく成人障害者のために内科・婦人科等を併設し、ライフステージに応じた医療を提供します。「療育は情念であり思想であり科学でありシステムである」と言われた高松先生の思想は私達スタッフの胸に深く根付いています。これからも一般病院の小児医療だけでは対応できない問題を抱えた子ども達と家族のニーズに応え、専門的役割が発揮できるよう努力しますので皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



はじめまして

総合療育センターに新たに赴任した医師の紹介

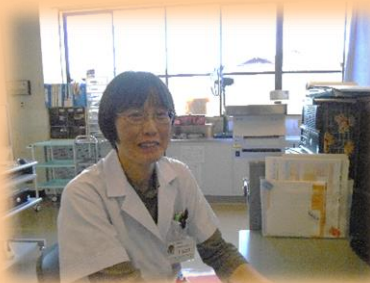


○なまえ
ふじた ひろゆき
藤田 弘之

○診療科
小児科

○ひとこと

4月より、小児科で勤務しています藤田です。少しでも皆様のお役に立てるよう頑張ります。



○なまえ
ともなぐ ゆうこ
友納 優子

○診療科
小児科

○ひとこと

小児科の友納優子と申します。4月に福岡大学小児科から参りました。小児神経を勉強しています。これまでは在宅医療をされている関係の方々にお世話になっている立場でした。在宅医療・地域連携の分野は、小児神経分野では大変重要な役割があり、今後も必要性がさらに増すように思いますので、勉強させて頂ければと思います。どうぞよろしくお願い致します。



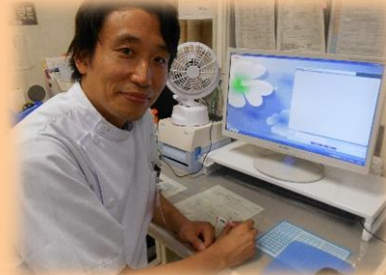
○なまえ
よした あつや
吉田 篤哉

○診療科
歯科

○ひとこと

4月より赴任してまいりました吉田です。

4年間宮崎で高齢者、有病者の方々の在宅診療に携わっておりました。口腔ケア、歯科治療から摂食治療、誤嚥予防のマッサージ等療育センターでも何らかのお手伝いが出来ればと考えています。よろしくお願いします。



○なまえ
さかもと かずや
坂本 和也

○診療科
整形外科

○ひとこと 将来は“在宅整形”にも携わり皆様のお役に立ちたいと思います。よろしくお願いします。



○なまえ
しもむら たいと
下村 泰斗

○診療科
児童精神科

○ひとこと

“人は一人では生きていない”

100回ダメでも101回目にはできるかもしれないという待ちの姿勢で試行錯誤や葛藤に寄り添いながら、自立に向けての支援を続けていきたいと思っています。

子どもたちからたくさんの力と感動をもらって日々頑張っています。

親子で楽しむバスハイク-2015春-

福岡市の博多リバレインと川端商店街周辺へ行きました！



梅雨の時期でしたが雨も降らず、楽しく過ごすことができました。

地域支援室 広報紙「かわらばん」について皆様のご意見ご感想をお待ちしております。

※かわら版紙面の写真はご本人の了承を得て掲載しています。

地域支援室とは…？

地域支援室は、皆さんの気持ちに寄り添い、安心して地域で暮らすための療育専門家チームでありたいと考えています。困った時は、お気軽にご相談ください。